

澁谷工業（6340）

担当 織田真由美

レーティング：**NEUTRAL** (2025/9/8) → **NEUTRAL**

- ※ ボトリングシステムで国内トップ。無菌技術に強み
- ※ 食品や医薬品などの更新需要、メンテナンス需要で収益基盤安定
- ※ 足もとの受注は低迷

	売上高 (百万円)	伸び率 (%)	営業利益 (百万円)	伸び率 (%)	経常利益 (百万円)	伸び率 (%)	純利益 (百万円)	伸び率 (%)	EPS (円)	1株配 (円)
連 22/6	96,223	-7.4	13,402	+5.5	13,701	+5.8	9,262	+4.9	334.79	70.00
連 23/6	97,842	+1.7	8,039	-40.0	8,171	-40.4	5,928	-36.0	214.29	70.00
連 24/6	115,434	+18.0	13,382	+66.5	13,559	+65.9	9,781	+65.0	353.54	90.00
連 25/6	129,017	+11.8	13,749	+2.7	13,773	+1.6	10,052	+2.8	363.34	95.00
連 26/6(会社予)	133,000	+3.1	13,000	-5.4	13,200	-4.2	9,300	-7.5	336.15	95.00
連 26/6(今村予)	133,000	+3.1	13,000	-5.4	13,200	-4.2	9,300	-7.5	336.15	95.00
第2四半期累計期間										
連 24/7-12	62,508	+21.6	7,373	+51.0	7,384	+53.1	5,100	+49.6	184.36	45.00
連 25/7-12	63,063	+0.9	5,056	-31.4	5,311	-28.1	4,023	-21.1	145.43	47.50
株価(2026/2/20)			3,540	円						
発行済み株式数(25/12末)			28,149	千株						
自己株式数(25/12末)			483	千株						
時価総額			99,650	百万円						
企業価値(EV)			65,323	百万円						
ROE(25/6実績)			9.6	%						
予想配当利回り(26/6今村予)			2.6	%						
予想PER(26/6今村予)			10.5	倍						
BPS(25/12実績)			4,032.58	円						
PBR			0.9	倍						
CFPS(25/6実績)			327.7	円						
PCFR			10.8	倍						
EV/EBITDA(25/6実績)			2.8	倍						



6340 JP Equity (澁谷工業) chartw 週足 18FEB2023-20FEB2026 Copyright© 2026 Bloomberg Finance L.P. 20-Feb-2026 18:15:55

株価チャート(週足)

出所:澁谷工業、ブルームバーグ、今村証券

※ 会社概要…ボトリングシステムで国内トップ

ボトリングシステムで国内トップ。飲料用の無菌充填システムでは国内シェア 80~90%とみられる。アジアや北米を中心に海外売上が拡大しており、海外売上高は約 4 割。

パッケージングプラント事業は食品や薬品・化粧品などの業界向けが中心、安定した需要があることや定期的なメンテナンスが必要なことが収益に寄与している。

※ 業績

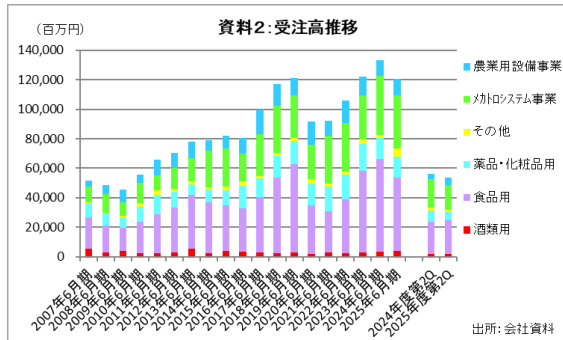
2026年6月期第2四半期連結業績は小幅な増収、営業減益。パッケージングプラント事業は増収増益と堅調だったが、メカトロシステム事業と農業用設備事業が減収・赤字となったことが

資料1：セグメント別売上高・利益

	2024年7~12月期			2025年7~12月期					
	受注高 百万円	売上高 百万円	利益 百万円	受注高 百万円	前年同期比 %	売上高 百万円	前年同期比 %	利益 百万円	前年同期比 %
パッケージングプラント事業	33,540	36,041	6,123	31,979	(▲ 4.7)	42,177	(+17.0)	6,524	(+6.5)
うち食品用	22,131	27,531	-	22,644	(+2.3)	29,354	(+6.6)	-	-
うち薬品・化粧品用	7,648	6,162	-	6,100	(▲ 20.2)	9,145	(+48.4)	-	-
メカトロシステム事業	19,109	20,310	1,510	16,721	(▲ 12.5)	15,745	(▲ 22.5)	▲ 26	(-)
農業用設備事業	3,642	6,155	869	4,798	(+31.7)	5,140	(▲ 16.5)	▲ 204	(-)

足を引っ張った（資料1参照）。メカトロシステム事業においてはEVやスマートフォン向けの需要回復が遅れているほか、医療機器の部品不足が影響し、農業用設備事業においては前期までの受注低迷が響いている。利益については人件費や原材料コストの上昇が利益を圧迫したうえ、パッケージプラント事業における他社製品の組み込み比率の高まりによる原価率上昇も利益率低下につながった。

受注は弱含みが続いている。パッケージプラント事業において高水準にあった飲料無菌充填システムの需要が一服していること、半導体製造システムの需要回復遅れが要因だ。上期の受注高は前年同期比5.0%減の534億円にとどまり（資料2参照）、第2四半期会計期間のBBレシオ（販売額に対する受注額の割合）は0.8と、第1四半期からなお低下した。需要低迷期間は過去においては2年程度だったことを考えると、今期末頃からの需要回復が期待できそうだが、受注動向を注視する必要がある。



※ 強み

同社の強みは技術力、イノベーション創出力、きめ細やかなサポート体制だ。創業以来のボトリング技術をコアにM&Aを通じて技術を蓄積、培ったロボット制御技術や無菌技術、レーザ技術などによって事業領域を拡大してきた。殊にパッケージングプラント事業では無菌技術が強みとなり、乳飲料や茶系飲料などの低酸性飲料の充填において優位性を発揮している。健康志向の高まりから低酸性飲料の需要が増加する中で、北米のほか中国や東南アジアでの需要も伸びている。

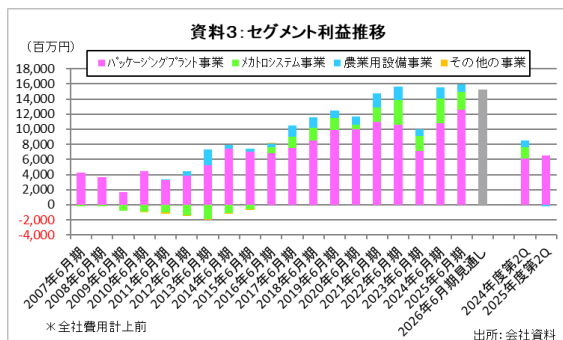
無菌技術は再生医療システムにつながっている。細胞培養アイソレータや自動培養装置、バイオ3Dプリンターなど豊富な品揃えが強みだ。再生医療の実用化が視野に入る中で、需要拡大が期待される。

メカトロシステム事業ではニプロ向けに人工透析装置のOEM生産を行っているほか、半導体製造装置も手掛けている。透析患者は北米や中国、インドを中心に増加傾向にあるため、人工透析装置の需要は堅調に推移しそうだ。

※ 業績予想と投資判断

通期業績予想に対する上期の進捗率は売上高で47.4%、営業利益で38.9%にとどまるが、同社業績は下期に偏る傾向があり、通期予想の達成は可能と考える。ただ、来期以降については足元の受注低迷が影響しそうだ。今村証券では受注の回復を来期と想定し、来期業績については売上高1200億円（今期比1割減収）、営業利益は2割程度減益の100億円、純利益72億円、EPS300円を予想する。

食品や医薬品、化粧品などが主要な需要先であり、更新需要やオーバーホールなどのメンテナンス需要が収益の支えとなることで、資本財セクターでありながら業績の変動が他の機械株ほど大きくない点は魅力的と考える。ただ、足元の受注状況が踊り場局面にあることから、投資するには受注回復を待ちたい。投資判断はNEUTRALを継続する。



【当社の概要】

商号等：今村証券株式会社
金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【手数料】

国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大1.201750%（税込）（1.201750%に相当する金額が2,612円未満の場合は2,612円（税込））の委託手数料をご負担いただきます。

外国株式（外国ETF、外国預託証券を含む）の外国金融商品市場等における委託取引にあたっては、売買金額（約定金額に外国金融商品市場における手数料と税金等を購入の場合には加え、売却の場合は差し引いた額）に対し、最大0.990%（税込）の国内取次手数料をいただきます。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国（市場）により異なります。外国株式（外国ETF、外国預託証券を含む）の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて今村証券が決定した為替レートを用います。

【リスクについて】

日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

【アナリストによる証明】

本資料に示された見解は、言及されている発行会社とその発行会社等の有価証券について、各アナリストの個人的見解を正確に反映しており、さらに、アナリストは本資料に特定の推奨または見解を掲載したことに対して、いかなる報酬も受け取っておらず、今後も受け取らないことを認めます。

【レーティングの定義】

OUTPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超上回ると予想される。
N E U T R A L：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンの+10%と-10%の間に入ると予想される。
UNDERPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超下回ると予想される。
トータルリターン：株価変動率+配当利回り
目標株価は12ヶ月間の投資を想定しており、将来発行されるレポートで修正されることもあります。

【免責・注意事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できると思われる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における今村証券の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。本資料は投資結果を保証するものではありませんので、本資料の内容について第三者のいかなる損害賠償の責任を負うものでもありませんし、本資料に依拠した結果として被った損害または損失について今村証券は一切責任を負いません。投資に関する最終決定はご自身の判断で行ってください。今村証券は本資料に関するご質問やご意見に対して、何ら対応する責任を負うものではありません。

今村証券及びその関連会社、役員が、本資料に記載されている証券もしくは金融商品について、自己売買または委託売買取引を行うことがあります。

本資料は今村証券の著作物であり、著作権法により保護されております。今村証券の事前の承認なく、また電子的・機械的な方法を問わず、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。